

酒田市少子化総合対策懇話会の開催について

平成26年 7月 31日

酒田市企画振興部

1. 目的

危機的状況にある人口減少問題を、市の最重要課題として位置付け、あらゆる方策を講じていく必要がある。とりわけ、人口減少の大きな要因である少子化問題を深刻に受け止め、結婚から妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援を総合的、かつ持続的に推進していくため、各ライフステージにおける支援活動の実践者を交えた懇話会を開催し、今後の施策等に対し意見を反映させるもの。

2. 懇話会の内容

- (1) 現状と課題についての説明
- (2) 酒田市の少子化対策の取組み状況についての説明
- (3) 上記(1)及び(2)を踏まえた意見交換
(結婚、子育て等の取組みについての紹介を含む。)

3. 開催時期

- (1) 7月31日(木) 10時～
今年度事業の進捗状況確認、少子化対策施策の意見交換、情報共有
- (2) 11月下旬
施策の進捗状況確認・検証、次年度施策の検討

4. メンバー 6名

- 東北公益文科大学 教授 伊藤 眞知子 氏
- 結婚サポーター連絡協議会 会長 後藤 甚一 氏
- 特定非営利活動法人にこっと 理事 石垣 直美 氏
- まつやま^{らぶりびと}愛里人 工藤 佐規子 氏
- 庄内総合支庁子ども家庭支援課 課長 大沼 裕 氏
- 酒田市健康課調整主任 安部 由香 氏

山形新聞

現状と課題確認

酒田：人口減少問題

対策本部の初会議

酒田市人口減少問題対策本部（本部長・丸山至副市長）の第1回会議が18日、市役所で開かれ、各部長ら10人が人口推計や子育て世代のニーズなどの現状と課題を確認し合った。

対策本部に二つの対策部会を設置。「自然減」では健康福祉、市民、教育の各部長らが結婚や妊娠、出産、子育てを支援するための課題や施策を検討する。「社会減」では商工観光、建設、農林水産、教育の各部長らが若者の地元定着などに関する対策を協議する。

この日は少子化や若者定着に焦点を当てた市の2014年度人口減少抑制施策を再確認。各部長が事業の進捗（しんちよく）状況を説明し、意見を交わした。丸山副市長は「市のホームページで会議の内容を公開する。市民の意見や考えを聞く仕組みにしたい」と述べた。

対策本部の対外的な発信の場として「少子化総合対策懇話会」を31日に東北公益文科大で開催する。結婚から子育てまで切れ目のない支援を総合的に推進するため、実践者による意見交換を行うのが狙い。本年度は対策本部の会合を11月と来年2月に開く。

読売新聞

酒田 人口減で対策本部

酒田市は18日、人口減少問題対策本部（本部長・丸山至副市長）を設置した。

関係部署の部課長ら22人で構成。婚活や子育て支援などを検討する自然減対策部会と、雇用確保などを考える社会減対策部会を設置し、有効な対策については早期の予算化を目指す。この日の初会合で、丸山氏は「人口減少は市の最重要課題。効果が出るものを効率的に実施していきたい」と話した。

31日には、市の結婚サポートや医療関係者、有識者らが参加する少子化総合対策懇話会を開催する。

【酒田市フェイスブック】



【人口減少の抑制に向けて】

7月18日（金）、平成26年度 第1回酒田市人口減少問題対策本部会議が開催されました。今回の会議では、同対策本部の設置や今後のスケジュールを確認した後、人口減少問題の現状と課題、施策の方向性などが提示され、議論が交わされました。

7月31日（木）には、人口減少の原因の一つである少子化問題への対策として、結婚から妊娠、出産、子育てなど各分野における支援活動の実践者を交えた「酒田市少子化総合対策懇話会」が開催される予定で、今後も、人口減少の抑制に向けてさまざまな角度から対策が講じられます。

